

沖縄のフロラを二分する境界線（六）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-03-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 正宗, 巖敬, Masamune, G. メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00065629

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



<i>Vittaria flexuosa</i> Fee シシラン	O, S
<i>Woodwardia orientalis</i> Sw. コモチシダ	O
SALVINIACEAE サンショウモ科	
<i>Azolla imbricata</i> Nakai アカウキクサ	O, S
<i>A. japonica</i> Franch. et Sav. オオアカウキクサ	(M)
MARSILEACEAE デンジソウ科	
<i>Marsilea quadrifolia</i> L. デンジソウ	(M)
	(つづく)

正宗 巖敬 沖縄のフロラを二分する境界線 (六)

G. Masamune : The Line of Demarcation which Divides the Flora of Okinawa, in Two Regions. (VI)

ヤエヤマコンテリギ (*Hydrangea yaeyamensis* Koidz.)

小泉先生は、この種が台湾に産するように述べていられるが、私は台湾のもので小泉先生がヤエヤマコンテリギとされたものは、カラコンテリギ(*Hydrangea chinensis* Maxim.)で。ヤエヤマコンテリギは、葉縁の鋸歯のはつきりしたもので、カラコンテリギの一品種としてよいものであると考える。何れにしても八重山以北には見出されていない。

***Hydrangea chinensis* Maxim. form. *yaeyamensis* (Koidz.) st. nov.** = *Hydrangea yaeyamensis* Koidz., in Tokyo Bot. Mag. LXIII. p. 394 (1929); Masamune, in Sc. Rep. Kanazawa. III. I. p. 10 (1955)

カカヤンバラ (*Rosa bracteata* Wendl.) 八重山地方に自生と思われるものが見られる。台湾にも自生があるが、沖縄本島以北には自生はないようだ。

ヤマネムノキ (*Albizia retusa* Benth.) フィリッピン群島から、台湾を飛ばして八重山群島にまで分布しているが、沖縄本島以北には見つからないようだ。

カワリバマキエハギ (*Desmodium heterophyllum* DC.) 八重山群島では普通に見られる。台湾、海南島などからずっと南方に広く分布するものであるが、この線を越えていないようだ。

フジボグサ属 (*Uraria* Desv.) 琉球列島には、フジボグサ (*Uraria crinita* Desv.), マルバフジボグサ (*U. hamosa* Wall. var. *formosana* Mats.), ホソバフジボグサ (*U. picta* Desv.), ヤエヤマフジボグサ (*U. yaeyamensis* Hay.) の5植物単位を産するが、これらは何れも、沖縄本島以北に分布していないらしい。そこでもしそうだとすると、フジボグサ属の分布を考える時には、この境界線は極めて重大な意味を持つものとなるであろう。

ヒルギカツラ (*Dalbergia candenatensis* Prain.) 西表島の紅樹林に見出される藤本植物で、この境界線の北に見出されていない。また台湾にも未発見なので、注意すべき分布の様式を示すものといえよう。 (続く)